

深掘り! あの現場

~Case01.橋梁下部工事~

現場で行われている作業はすべて、私たちの生活に欠かせないものです。今回ご紹介するのは、日本全国、どの川にも当たり前のように架けられている橋にまつわる現場。あなたの近くの橋をよく見ると、柱がちりちりと下から支えているはず。

現場概要

- 現場名: 砂川橋梁下部工工事
※橋の架け替え工事で、新しい橋を架けるための杭打ちを担当
- 場所: 岡山市東区西大寺
- 工期: 2022年末~2023年初
- 人員: 河野組4名、元請会社4名



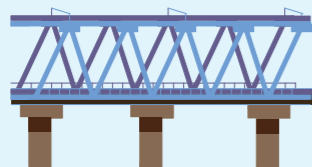
工事部 リーダー
かわさき じろう
川崎 次郎さん

いわば柱は橋の生命線。その柱に河野組の技術が大いにかかわっているのです!現場の様子について、私が説明します。

大変だったこと

寒さと夜間作業に苦勞

大変だったことは、2つあります。1つは寒さ。朝は鉄板の上の水が凍るほどでした。もう1つは夜間作業。工期の関係で20時まで作業を余儀なくされました。夜の掘削作業は照明をつけても見えない場所が出てくるのでけがや事故のリスクが高まります。いかに安全に施工するかに苦慮しました。



現場で得た課題・学び

安全のためにすべきことをあらためて認識

品質面で少し課題を感じました。急ぎでなく、夜間作業でなければ、より一層精度を高められたのではないかと考えています。たとえば、ケーシング(※)を完璧にまっすぐ入れられたのではないかと……。とはいえ、施工に問題はなく、安全に完遂できたのは良かった!ささいな情報も共有し、入念な確認やこまめな声かけが安全につながることをあらためて学んだ貴重な機会でした。今後も危険を回避、安全第一で作業にあたります。
※ケーシング=鋼管のこと。

工夫したこと

危険の芽を摘みスピーディーに作業

安全確保のために、こまめな確認と声かけを心がけました。朝のミーティングでは当日の作業内容を詳細に伝えて全員で共有。クレーンが旋回する方向、立ち寄らない箇所も明確に決めました。そして、作業中はお互いに声をかけあうことも忘れずに、旋回方向変更時はクラクションで合図。手元に注意、足元に注意、周囲に注意。全員がそれらを念頭に置き、危険の芽を摘んでいきました。作業では事前の土壌調査結果のボーリングデータを参照しつつ、いかにスピーディーに掘削するかを工夫しました。掘削時、掘っている穴の外から土が入ってくるのを防ぐために、穴に水を張って抑え込

みます。ただし、水を張ると、水の抵抗で掘削しにくくなるというデメリットもあります。水を張るのか、張らないのか、その判断は悩ましいものなのです。そこでボーリングデータをもとに掘削を開始。本来、水を張るべき深さに到達しても、目視とこれまでの経験から「まだ水は不要」と判断できたらそのまま掘削。ぎりぎりまで水を張らずにスピーディーに掘り進めるよう工夫しました。この工夫は、今回の掘削12か所すべてで行いました。



現場外の様子

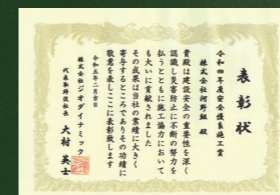
ときには宿で和気あいあいと……

今回は通いで工事、しかも夜間も施工。メンバーと食事会、飲み会を開く機会がありませんでした。完遂後、すぐに次の現場へ入ったので、打ち上げもできず残念です。現場へ泊まりがけで行く場合は、夜、旅館で和気あいあい、おいし

い食事とお酒を楽しむのですが……。同じ宿に別々の現場メンバーが泊まって、総勢10名で食事会というときもありました。また、そういった機会があるといいなと思っています。

お知らせ掲示板

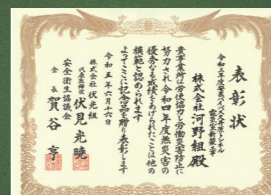
当社、そして原田さんと小寺さんが安全活動を評価され、表彰されました!今後も安全第一でよろしくお願い致します!



(株)ジオダイナミック 安全表彰



(株)三幸工務店 安全表彰



(株)伏光組 安全表彰



五洋建設株式会社より
個人表彰 原田 恵嗣さん



鹿島建設株式会社より
安全表彰個人表彰 小寺 亮輔さん

おもわず
ほっこり

家族への 「ありがとう」



一緒に働く仲間にも、いつも支えてくれる大切な家族がいます。
働く姿だけでは知ることができない家族への「ありがとう」の想い。
今回は横山さんと香川さんにお話をお聞きしました！

奥様のすてきなところ

「いつも気にかけてくれる優しさに感謝」

出張前に気を利かせて、生活に必要なものを揃えてくれたり、出発の際は私の姿が見えなくなるまで見送ってくれたりします。出張期間中は毎日電話で連絡を取り合うなど、妻の心遣いに支えられています。出張から戻るときは、日頃の感謝の気持ちを込めて、お土産に妻の好きそうなものを買って帰ることが私の楽しみの1つ。妻は「気を遣わなくていいのに」と言ってくれますが、妻の喜ぶ姿を見るのが私の心の支えにもなるのです。



工事部
よこやま すずむ
横山 進さん

To 妻へ

社長を始め、一緒に働く人達はいい人ばかりです。現場では「怪我がないように」と、厳しく指導をいただくこともあり、安全に対する意識が高い職場だと感じます。夜には皆さんと一緒に夕飯を食べ、ときにはお酒を飲みながら、様々な話をして親睦を深めています。私はそのように、やりがいを感じながら楽しく仕事に取り組んでいるので、安心して下さい。

出張が多く心配をかけることもありますが、いつも優しく支えてくれて、本当に感謝するばかりです。これからも共に人生を歩んでいきたいので、長生きしてください。バイクと一緒にツーリングに行きたいという夢、いつか叶えましょう！



工事部
かがわ あきひろ
香川 昭彦さん

奥様のすてきなところ

「仕事に全力投球できたのは妻のおかげ」

結婚して40年ほどになりますが、いつも寛大でいてくれるところですよ。仕事で不在にしがちで、常によい夫でいられたわけではないですが、どのようなことがあっても必ず許してくれました。実は妻の作る料理はどれも平均以上の美味しさ。子どもが3人もいる中、私の分の食事も朝晩ときちんと用意してくれていたのには感謝しかありません。

To 妻へ

仕事柄、若いときから出張ばかりで子どもの面倒や教育は任せっきりでした。自分も仕事をしている中で、頑張ってきてくれたこと、本当に頭が下がります。夫婦共々これからも健康に気をつけて、一緒に定年を迎えられたら最高です。これからも末永く元気に過ごしていきましょう。

俺の出張飯



食事会で元請けさんと仲良しに！結果、仕事がやりやすくなりました

工事部 リーダー
みやけ ゆうじ
三宅 雄治さん

2019年頃、コロナ禍になる前のある食事会が印象的でした。

元請けさんと、当社の社員8名程度の大所帯で忘年会として焼肉へ。皆で楽しく過ごしましたが、コミュニケーションが一層取りやすくなったのです。少し言いづらい要望も、ざっくばらんにできるように。

また、水替えの作業を元請けさんが手伝ってくれることも！食事会の力はすごいなと思った出来事です。

食事会を実施することが全てではありませんが、仕事から離れることで話も弾み、結果的に仕事の能率が上がり、安全な仕事にもつながると思います。